

★ Jeans

ニッポン 見聞録



「外人」という言葉が嫌い

僕が生まれたブラジルには、日系人がたくさん住んでいます。僕の祖父母も戦前、父方は沖縄から、母方は広島から移住しました。10年間働いてお金をため、日本に戻る予定でしたが、結局、ブラジルで一生を終えました。

日系に限らず、ブラジルには様々な国から来た人たちがいます。ポルトガル、スペイン、イタリア、オランダ、韓国、中国、トルコ……。それぞれの人たちがそれぞれの国の文化を守りつつ、共存しています。僕

具志アンデルソン(24) ブラジル

は10歳までブラジルに住んでいました。様々な人種に囲まれて暮らしていたので、あの人はなぜ肌の色が白いのか、黒いのかということを考えたことがありませんでした。今もそれは変わりません。

僕は「外人」という言葉が嫌いです。「そとのひと」という文字通りの意味も好きになれないのですが、自分たちと異質な敬遠すべき存在といったニュアンスが含まれているように感じられるのです。日本でも国際化が声高に叫ばれていますが、外国人を日常的な隣人ではなく、あくまで外の人として扱ううちは、いつまでたっても国際化社会にはなれないと思います。

(国際化対応教育指導員)